

日本ユニシスグループについて

日本ユニシスグループは、営業・開発・保守が三位一体となり、グループ総合力を結集し、お客さまにおける経営課題の認識から解決に至るまでの一貫したITソリューションサービスを提供します。

会社概要・関連トピックス

お客さまを理解できるITサービスパートナーとして、お客さまの価値の創造に貢献し、すべてのステークホルダーのみならずとも成長することをめざします。

会社概要

社名	日本ユニシス株式会社 Nihon Unisys, Ltd.
設立	1958年(昭和33年)3月
代表者	代表取締役社長 粉井勝人
資本金	54億8,317万円
連結売上高	3,074億55百万円(2007年3月期)
社員数	4,460名 (グループ全体 8,839名 2007年4月現在)
主要株主	三井物産株式会社
本社所在地	〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1
事業内容	コンサルティングサービス、ITソリューション、アウトソーシングサービス、サポートサービスおよびシステム関連サービスの提供、ならびにコンピュータシステム(ハードウェア、ソフトウェア)の販売

日本ユニシスグループ会社(2007年4月現在)

業務内容	会社名
マーケティング&ビジネス開発&コンサルティング	日本ユニシス(株) ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ(株)
ネットワーク&サポートサービス	ユニアデックス(株)
システムサービス	USOLホールディングス(株) USOL東京(株) USOL北海道(株) USOL東北(株) USOL中部(株) USOL関西(株) USOL中国(株) USOL九州(株) USOLベトナムコーポレーション 日本ユニシス・エクセリュージョンズ(株) (株)国際システム G&Uシステムサービス(株)
アウトソーシング&サプライ	日本ユニシス・サプライ(株) (株)エイタス (株)トレードビジョン ユーエックスビジネス(株)
人材育成サービス	日本ユニシス・ラーニング(株)
グループサービス	日本ユニシス・ビジネス(株) 日本ユニシス・アカウンティング(株) NULシステムサービス・コーポレーション

日本ユニシスグループの戦略

金融、製造、流通、社会公共など幅広い分野における豊富な実績と業種横断的なノウハウを駆使したITサービスを提供するとともに、お客さまとの深いコミュニケーションを通して、お客さまの立場からシステムを構築、ITによる経営革新を強力に支援します。

 **基本方針、基本戦略詳細**
<http://www.unisys.co.jp/cm/>

基本戦略

市場戦略

- 営業力・マーケティング力強化
- 注力市場での活動強化
- 注力ビジネスの着実な推進
- 注力技術分野への資源重点投入

サービスビジネス戦略

- 知識集約型モデルの推進
- 市場競争力向上

グループ戦略

- グループ各社の役割・機能の明確化
- グループコアビジネスの強化

人材戦略

- グループ人事戦略の構築
- 人材育成の強化

4つの柱

M&A推進

- 顧客基盤と技術力の獲得

グローバル展開

- 海外での事業機会拡大

三井物産との連携強化

- 事業機会と知識・ノウハウの獲得

R&D強化

- 技術的優位性の強化
- 次世代技術の調査・研究

品質保証

- グループが提供するすべての製品・サービスの品質保証体制強化



日本ユニシスグループ関連トピックス

2006年

人材戦略 グローバル展開 6月「USOLベトナムコーポレーション設立」

日本国内大手ITベンダーとして初のオフショア開発専門の現地法人設立。ベトナム最大手のITベンダー「FPT Software Joint Stock Company」との提携により優秀な人材を確保し、開発コストの削減を図り、高度なオフショア企業をめざします。

品質保証 6月「品質保証部 新設」

日本ユニシスグループにおけるプロダクトおよびサービス全体の品質を保証できる体制を推進します。

グローバル展開 7月「米国サンノゼ事務所 開設」

米国における最新の情報技術を調査・収集し、日本への新技術の持ち込みを図ります。

M&A推進 8月「ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ子会社化」

企業の業務変革・組織変革を支援する高品質なITコンサルティング・サービスを提供します。

人材戦略 9月「育児関連制度 改定」

働きやすい職場環境実現に向けて、育児関連制度を改定しました(P.23参照)。

R&D強化 11月「OSSビジネスセンター 設立」

ミッションクリティカル分野の強化の一環としてOSS(オープンソース・ソフトウェア)事業の研究開発とマーケティング機能を拡充します。

2007年

グループ戦略 1月「USOLホールディングス、地域開発会社 設立発表」

営業、システム開発を一本化し、システムサービス体制の強化および地域密着型サービスの提供を推進します。

市場戦略 2月「ユニアデックスとKDDIがICTサービス分野で提携」

通信ネットワークと事業所内LAN構築などをワンストップで提供する「企業向けICTソリューションサービス」を開始。KDDIとの包括的な業務提携を行い、サービス窓口の一本化・共同営業活動を行います。

次世代育成支援の認定「くるみん」取得

育児関連制度の改定や制度取得の推進により、日本ユニシスとユニアデックスは2007年、厚生労働省から次世代育成支援対策推進法に基づき、【社員の仕事と生活の両立支援を推進した企業】として認定されました。今回の取得は「多様な働き方としての短時間勤務の導入」、「男性の育児休業取得の促進」、「地域の子供育成に関わる社会貢献活動」などの取り組みが認められたものです。



次世代認定マーク「くるみん」

日本ユニシスグループ CSR活動への評価

日本ユニシスグループのCSR活動に対して、さまざまな専門機関から評価をいただいています。

- モーニングスター株式会社による「モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRIインデックス)※」の構成銘柄に、2005年9月から継続して採用されています。SRI(Socially Responsible Investment:社会的責任投資)は、企業の評価にあたり、財務状況や成長性だけでなく、その企業が果たしている社会的責任も考慮し、投資判断に利用するもので、日本でも多くのSRIファンドが設定されています。
- パブリックリソースセンターによる第4回「企業の社会性に関する調査(2006年)」結果において、総合評価「A」を獲得しました。
- 株式会社日本総合研究所による「CSR経営動向調査」結果において、金融機関などへの企業情報の提供にあたり、【社会的責任経営の取り組みの進んだ企業】として選定されました。

※ モーニングスター社会的責任投資株価指数(MS-SRIインデックス)



「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。本株価指数は、それを構成する銘柄を含めて、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより指数の算出・管理を行っておりますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。前記事項を制限することなく、たとえ直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、拡大的損害その他あらゆる損害(逸失利益を含む)について通知されたとしても、モーニングスター株式会社では、このような損害賠償については、いかなる責任も負いません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます